

# BARAKA

BARAKA 通信 2号  
2012年12月発行

10月1日、ベレー県マキマ地区ゲシャ村にて、サンヨー電器株式会社より寄贈いただいた、ソーラーランタンの贈呈式が行われました。サンヨー電器より角地さんが参加され、日本大使館より公使にもご参加頂き、盛大に催すことができました。ゲシャ村の2校の生徒を対象に、1家族につきソーラとランタンの、各1台計250セットの寄贈がされました。大人達の歓喜の歌や子供たちの歓迎ダンスが、マキマの空に響きました。ランタンを受け取る際にも、村人達はケニア独特の動物の鳴きまねを発し、最上級の喜びを現していました。



やったー！！  
僕らの村にはじめて  
電気がやってきた！！



ようこそ！！ゲシャ村へ！

私たちに宝物を  
運んで来てくれて、  
本当に、ありがとう！！  
これで、子供達も  
夜、勉強ができます。  
心から感謝します！



昨年、大会で1位を獲った  
ゲシャ小学校のケニアダンス  
鮮やかな腰のみがダンスを  
更に華やかにします。

電気も水道もない乾燥地帯、彼らにとって宝物は、数少ない「雨」。しかし、この日は前日から大粒の雨が降り続き、この記念すべき日を祝うかのようなお天気でした。それは、彼らにとって二重の喜びです。電気がない貧しい村に、ランタンの灯りがともることで、子供達は夜家で勉強ができ、お母さんは灯りの下でご飯を作ることができます。後の管理も含め、ACEFが引き続きこの大きなプレゼントを、大切にしたいと思います。





## 2012年12月3日 エナ「メディカルキャンプ」



\* ケニア人スタッフと日本スタッフが一丸となり、大勢の方の診療サービスの手助けができ、無事この大きなイベントを成功できました。

■12月、エナにてメディカルキャンプが行われました。20ヶニアシリングで医療が受けられるとあり、1000人をも超えるたくさんの方が来られました。村人達は、受付を済ました人から血圧を測り、それぞれの診療先へと案内され、診察を受け、最後は薬を受け取ります。順番を待つ人々に、提携会社より歯科の衛生指導が行われ、歯ブラシや歯磨き粉が配られるなどのサービスも行われました。おかげさまで、多くの方々にエナを知ってもらうことができ、現在は以前よりたくさんの方に利用していただけるようになり、更に地域に密着した施設へと変化を遂げることができました。

## 2012年11月10日 カングンドー「消防車贈呈式」

青く澄み渡る快晴の空の下、ナイロビより東へ65キロほどのカングンドーという街へ、日本の天理市より寄贈いただいた消防車両の贈呈式に、村上代表・塩尻所長・他日本人4名が参加されました。ケニアでは、政府の政策で70県あった県が、200県に分散化しており、現在消防車の所有していない県が多く、火事になっても燃え尽きるまで見守るしかできなかったのですが、消防車があることで早く鎮火ができ、家や人を守ることができますので、カングンドーの街をあげて、この消防車が来るのを「待っていました!!」とばかりに、盛大な歓迎セレモニーで迎えてくださいました。水産大臣の参加もあったりと、大変重要な役割を果たした一日でした。今回で、ケニアへの消防車寄贈は8代目になります。今後も、あちこちで消防車を待ちわびる声が挙がっており、またこのような機械が与えていただけることを望みつつ、日本の皆様からの輸送費などの多大なるご支援のおかげで、このような贈呈式ができたことを、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

